

備える 3.11から

第197回 特別編 むすび塾@311メディアネット



教訓も知恵も 地域超え共有

中日新聞や河北新報など全国の地方紙、放送局でつくる「311メディアネット」は2月11日、全国3カ所をオンラインで結び防災ワークショップ「むすび塾」を開催した。宮城県東松島市から大学生が中継で東日本大震災の語り部を務めたほか、各地で災害伝承や防災に取り組む10～30代の若者が災害の教訓を共有した。

若者がワークショップ

中高生の意識高めたい 名古屋大2年 坂上野々香さん

「一車輪の轡を意味するサークルの名前には、過去の人が残したことから同じような被害を受けないようにすることが出来た。今後起きるであろう巨大大地震に備え、災害を悲しむ人を一人でも減らしたい。」



坂上野々香さん

避難どう促せば? ■メタバース 訓練に活用を

「防災授業で小さな子どもがいる家庭、新聞紙の活用など」と話したのは、開成大、大隈研二の牧野美奈さん。体にも配慮しながら、簡易トイレを入れたら防臭効果もあると説明した。

311メディアネット 河川新報社が展開する防災の巡回ワークショップ「むすび塾」を共催した全国の地方紙、放送局が参加するネットワーク。防災機運を盛り上げるため、東日本大震災の発生日前後に共通タイトルの

都市水害 あふれた災害ごみ



東海豪雨 (名古屋市長 愛知県清須市) 2000年の東海豪雨では、愛知県内を中心に死者18人、浸水家屋約7千棟という最大規模の被害が出た。

「無秩序に道路上に放置されたごみもあり、緊急車両の通行の妨げになった」と同市長は、発生時の教訓を踏まえ、同所では、発生が想定される南海トラフ地震も教訓に、災害廃棄物処理計画を早め、災害発生時には、住宅地等に「元隣集積所」を五十八カ所設け、それぞれ二次搬送場(一八カ所)開設予定、(ハ)ストン搬送して運び出すとしている。



百台分の量で、一年間の廃棄物処理量の五倍に及んだ」と同市長。一そびえ立つような山のようになってきた」と振り返った。



あし原公園 園内の東海豪雨水害の碑は、地元住民が主体となって、豪雨翌年の2001年に建立。御影石の石版には、豪雨や堤防決壊の経緯や様子などが記されている。名鉄大山線・中井田駅から徒歩18分。



CBCテレビによる動画はこちら